

令和3年度 第4回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事

2021.05.26 (水) 18:00-18:30

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 大谷 奥田
小西 酒井 須田 中西
西田 町野（書記） 村上 湯川（敬称略）
欠席委員： 金村 川口 手束 宮腰 大和（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2021年5月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 7月から日本脊椎脊髄病学会（JSSR）DB 合併症調査のパイロット登録が開始される予定。
2. 5月31日にJSSR 理事会が開催されるため、次回の本委員会で内容を報告する。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会委員）
（*整形外科手術全般に及ぶため、まずはJOA 委員会内で検討いただく）

「貸出器械におけるプリオン病発症に関する注意喚起」に関する見解について、酒井先生から下記報告がされた。

1. 「プリオン病感染予防について周知・徹底」に関しては、JSSR と日本整形外科学会（JOA）の安全医療推進委員会学会で今後方針を決め検討する。
2. 貸出器械（Loan Instruments）を使用に関しては、整形外科手術全般に及ぶため、JOA 安全医療推進委員会を中心に今後対応していく予定。
3. 酒井先生がJOA 安全医療推進委員会のアドバイザーとして委嘱される予定であり、JOA 委員会での検討内容などを本委員会にも情報共有としてご報告頂く。

2. 報告・確認・検討事項

（ア）脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：

酒井先生

1. 現在730件のアンケート回答（約20%回答率）が集まっている。
2. JSSR 学会会員全員からの回答率を上げるため、リマインドメール内容を再考する。

3. JSSR 学会会員へニュースレターを送り、5月31日までに更に多くのアンケート回収を行う。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生に代わり、酒井先生から下記報告がされた。

1. 現在 787 件のアンケート回答（約 22%回答率）が集まっている。
2. 5月31日までのアンケート調査期間中に再度リマインドメールを送付する。
3. アンケート調査終了した後集計を行い、6月（次回）の本委員会でアンケート調査結果を発表する予定。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生に代わり、今釜委員長から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

1. 予定通り進捗しており、7月パイロット登録を開始しシステム修正の後、本登録を9月に開始する予定。

(エ) 安全医療に関する JSR 掲載論文：今釜先生

JSSR 誌掲載の安全医療の論文について、該当する論文があった場合、安全手術の注意喚起に繋げる目的でホームページへ掲載する。委員から候補論文があればご提案いただき、事前に本委員会で内容を議論し、承認後に JSSR 広報委員会へ諮ることとする。

(オ) 医療事故調査に関わる外部委員の派遣依頼への対応：高相先生

本委員会で医療事故調査を行っており、本委員会委員へ調査派遣依頼のお願いがあった。今回の神奈川県の件については北里大学高相理事の施設にお願いすることとなり承諾が得られた。今後地域性を含め高相理事と今釜委員長で検討し該当委員に適宜相談される。

3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約1ヶ月後の JSSR 理事会開催後に予定（1時間の見込み）
- ・【次回】2021.06.30（水）18時～
- ・【次々回候補日】2021.07.28（水）18時～